

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA 4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は「〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学大学院連合獣医学研究科 応用獣医学連合講座 浅井鉄夫」までお願いします。

〔編集後記〕

昨年9月に26年ぶりの豚コレラが岐阜県内で発生が確認され、野生動物からも感染豚が見つかっている。使用衛生管理基準に基づく衛生管理の確認作業が続く一方で、イノシシにおける感染確認が死亡個体と捕獲個体を対象に行われている。しかし、イノシシの感染がいつまで続くのか先が見えない状況であるが、5～10年と長期化

を想定した検査体制も考えなければならないかもしれない。イノシシ年を迎えて、愛嬌のあるイラストや野性味あふれた写真の年賀状を苦々しく見たのは私だけであろうか。

本号ではアジアにおける豚の放牧、豚の感染症（MRSA やサルモネラ）、ミニブタより小型の豚（マイクロミニピッグ）、生産資材、飼養管理関係と幅広い話題を取り上げました。豚コレラについてはいろいろな雑誌で取り上げられていますので、次号か次々号で少し違った切り口の原稿が掲載できればと思っています。

「All about SWINE」

第54号

2019年2月発行 定価1,500円

発行者 小林 秀 樹

編集者 浅 井 鉄 夫

発行所 日本 SPF 豚 研 究 会

事務局 (株)伊藤忠飼料研究所

予防衛生チーム内

〒325-0103

栃木県那須塩原市青木 919

Tel : 0287 (64) 3652

Fax : 0287 (63) 8384